

他者理解と挑戦

2学期の学校生活を振り返って、皆さんは何が一番思い出に残ってますでしょうか。授業、部活動、そして様々な行事がありました。9月の山高祭に始まり、未来探究による校外学習、2年生の修学旅行、秋の遠足、3年生だけの体育祭、そして先週の球技大会。私が一番印象に残っているのは、先日の3年生の皆さんによる、「山北町への政策提言の報告会」です。第1部では4グループの皆さんによる素晴らしい発表があり、第2部では参加者同士の意見交流が交わされ、大変盛り上がりました。事後のアンケートでも、この取り組みについて、参加した中学生や地域の皆様から、称賛するコメントなどを沢山いただきました。私も大変誇らしく、とても嬉しく思っております。ここで改めて、お礼を言わせてください。緊張したと思いますが、4グループとも大変素晴らしい発表でした。ありがとうございました。

話は変わりますが、今年の2024年流行語大賞のベスト10の内、1位は「ふてほど」2位は「50 - 50」とのことです。第10位につけたのが「生成AI革命」だそうです。現在、私たちの社会は、AIの急速な発展によって、大きく生活も変化しています。今や生成AIを使えば、まるで人間が書いたような文章を、作ったり、絵を描いたりすることもできます。皆さんのスマートフォンにも、AIが搭載されているアプリがあると思います。例えば、ChatGPTを使えば、どんな質問でもAIが即座に答えてくれます。この生成AIには、まだまだ様々な課題もありますが、AIは私たちの生活を、より豊かに、そして創造的にしてくれることが、もう未来のことではなく、現実のものとなりました。本校にも先月から、今皆さんが観ている「大型電子黒板」が各HR教室に配備され、普段の授業がより一層IGT化され、楽しく、そして深く理解できるように整備されたと思います。先生方のご指導の下で、このツールと皆さんの持っている一人一台端末を、有効に活用して、さらに深い学びを追求してください。

ここで、関連すると思いますので、皆さんがよく利用していると思われるSNSについて、少しお話ししたいと思います。連日のようにニュースになっている「闇バイト」による、違法行為への関与が、若者を中心に深刻化して社会問題となっています。特に高校生は、被害者にも加害者にもなりやすいことから、積極的な注意喚起と情報提供が求められているところです。SNSは手軽で便利な反面、危険なサイトの勧誘等もあります。「闇バイト」に限らず、少しでも怪しいと思ったら、絶対にアクセスしない、関わらないことが重要です。不安や疑問に思うことがあれば、先生や家族に相談してください。一人で抱え込まず、周囲の大人を頼りましょう。

最後に、皆さんには、3学期に向けて、次の2つのことを期待して終わりたいと思います。

1つ目の期待は、2学期始業式でもお話した「他者理解」です。皆さんは様々なストレスや悩みを抱えてことと思います。コロナ禍の影響もあったと思いますが、人との関わり方、コミュニケーションをとることが難しいと感じる人もいます。学校は、様々な考えを持つ同年代の人達が集まる場所でもあります。仲間や友達であっても、意見が食い違うこともあります。ともすると、それをきっかけに、エスカレートして「暴力行為」や「SNS等による嫌がらせ」という問題行動に発展しかねません。そんな時こそ、「アンガーマネジメント」怒りやネガティブな感情をコントロールする力が必要です。「他者理解」ができる人になってください。まずは、相手の立場に立って考え、常に相手を思いやり、尊重し、理解し合って、皆さん同士がより良い学校生活を築いてくれることを期待しています。

2つ目の期待は、「チャレンジ」(挑戦)です。この後、担任の先生から通知票を渡されると思いますが、評価の結果を見て、例えば得意科目をさらに極めようまたは、苦手科目を本気で克服しようとか、来年こそ部活でつぺんを目指そうとか、ボランティアをして社会に貢献しようとか、どんなことでも構いません。夢は力。ぜひ自分自身の可能性を信じて挑戦してください。きっと皆さんの成長の幅を、さらに広げてくれるはずですし、その経験は一生の宝物になると思います。まずは失敗を恐れずやってみましょう。チャレンジしてみましょう。期待しています。

明日からの冬休み、これまでの2学期の自分を振り返り、未来の自分を想像してください。そして、新しい年を迎えるにあたり、それぞれの新たな目標を立てて実践してください。3学期始業式では、さらに成長した皆さんとお会いできることを、楽しみにしています。

よいお年をお迎えください。